

2019年5月17日

丸紅株式会社

サウジアラビア王国におけるシュケイク 3 造水プロジェクトの融資契約締結・着工について

丸紅株式会社（以下、「丸紅」）は、サウジアラビア王国・シュケイク 3 造水プロジェクト（以下、「本プロジェクト」）に関し、Acciona Agua S.A.（以下、「Acciona」）、Abdul Latif Jameel Commercial Development Company Ltd.（以下、「ALJ」）、および Rawafid Alhadarah Holding Ltd.（以下、「Rawafid」）と共同出資する Shuqaiq Three Company For Water 社を通じて、2019年4月に融資契約（以下、「本融資」）を締結し、海水淡水化プラントの建設工事を開始しました。

本融資は、三菱 UFJ フィナンシャル・グループ、農林中央金庫、株式会社三井住友銀行等の合計6行が約 500 億円の協調融資を行うプロジェクトファイナンス(*1)であり、本融資契約締結により大きなマイルストーンの一つを達成しました。

本プロジェクトは、サウジアラビア王国紅海沿岸のシュケイク地区に、逆浸透膜（RO 膜）方式(*2)の海水淡水化プラント（造水容量 450,000m³/日（給水人口約 2 百万人相当））を建設・保守・運転し、サウジアラビア王国水電力公社（Water and Electricity Company、以下、「WEC」）に 25 年間に亘って造水・売水を行うものです。

サウジアラビア王国をはじめとした中東湾岸諸国の水需要は、経済成長や人口増加を背景に急速に増大しています。また、再生可能エネルギー等の発電方式の多様化を背景として、火力発電設備との併設を前提とせず単独での造水が可能な RO 膜方式の海水淡水化案件への志向が高まっています(*3)。丸紅は、世界各国にて蓄積したノウハウを活かし、水資源の乏しい地域での安定的・安全な水供給サービスを届ける社会的責任を果たしていきます。

(*1) プロジェクトから生み出されるキャッシュ・フローを主な返済原資とする資金調達方法

(*2) 塩類等を含む水を、浸透圧現象を利用し RO 膜に透過させる造水方式

(*3) 従来は、火力発電設備から発生する熱を利用する蒸発法が主流

<サウジアラビア王国・シュケイク 3 造水プロジェクト概要>

出資比率 : 丸紅 45%、Acciona 10%、ALJ 30%、Rawafid 15%

造水容量 : 450,000m³/日

運転開始 : 2021 年（予定）

売水先 : WEC

売水期間 : 25 年間

<サイト地図>



<関連プレスリリース>

・2019年1月30日

サウジアラビア王国におけるシュケイク 3 造水プロジェクトの長期売水契約締結について

<https://www.marubeni.com/jp/news/2019/release/20190130J.pdf>

以 上